

利用手順マニュアル Ansible-driver 別紙 Ansible利用ガイドライン ITA追加ルール

一第1.4版一

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 ・Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。 なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。 ※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Ansible利用ガイドライン(ITA追加ルール)

No	項目		当モー Role		ITA取り込み可能例	ITA取り込み不可例	ルールに準拠しな い場合の影響機能	影響楽象	エラー表示例
1	家数を使用する際、playbook内の変数を以下とする。 ※ユーザ定義範囲の記載ルールはAnalble ルールに準する 半角大ス平 ユーザ変画 {{ VAR ※ ※ }} 半角スペース 2569yte以内 半角スペース	0	0	0	- name: ファイル内容機能 command: cat /tmp/[[VAR_SAMPLE]]	- "「老たは、"」と要素の側に「井角スペース」がない command cut / frum/IVAR SAMPLE 「または、"「と変数を側のに「井角スペース」が2個以上ある command cut / frum/IVAR SAMPLE 「または、"「と変数を側のに「井角スペース」が2個以上ある command cut / frum/IVAR SAMPLE 「最終文字(NAZ)の」がない。 「機数文字(NAZ)の」がない。 「機数文字(NAZ)の」がない。 「機数文字(NAZ)の」がない。 「機数文字(NAZ)の」がない。 「表数名が12タッキ以上ある	代入值管理	- 登録の場合 Movementを選択しても変数名に鉄橋として表示しませ が。 作業来行時に変数未定機のエラーと切ります。 - 運動の場合(性人地管理型鉄線にTiへ油加ルール外の 影散の場合やのは下野は上場合) 変数名にTiの変換失数(小)(※nは登録時の管理番号)と 表示します。 作果実行時に変数未定機のエラーとなります。	議員 ポルーション* Novement* 意志* 意意な* *** 意意な**
2	ITAWebUI上のテンプレート管理メニューでテンプレート素材を登録をする際。 テンプレート埋込変数名の接線文字をTPF.とし、TPF.を含め298Byte以内とする。	0	×	×	<u>アンプレート導入を含名</u> 中 TPF_SAMPLE <u>sample.bd</u>	TPE.SAMPLE	テンプレート管理	登録画面でパリデーションチェックを行っているので、ITA 追加ルールに準拠しないキンプレート埋込変数名は登録 できません。	West His John School of Table A North-Caul School of the OM OM
3	アップロードレたテンプレート素材をplaybook内で指定する場合は、playbook内の変数を以下 とする。 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	0	×	×	- name: ファイル配置 template: src= TPF_SAMPLE dest=/tmp/SAMPLE.txt	*「"重たは"」と聚身るの間に「非角スペース」がない templates resul["PF SAMPLE dest*/mmy/SAMPLE tot templates resul["PF SAMPLE dest*/mmy/SAMPLE tot """または""」と数をの間の「神界ペース」が登場以よる templates resul[" IPF SAMPLE dest*/mmy/SAMPLE dest*/mmy/SAMPLE tot ・指数文字(IPF)が小文字によっている は数が作と、はないがに、自めませ、/mmy/SAMPLE tot は数字があった。 「「PF SAMPLE dest*/mmy/SAMPLE tot ・変数系が2005と同じ。 「特別ないから、「はないがに、自めませ、/mmy/SAMPLE tot ・変数系が2005と対しまる。	テンプレート管理	登録したテンプレート素材への置後が行われません。	■ 連行状況(エラーログ) フィルタ: □ 正面的ため業を 汗が3/mmファイル(trengists.ysl)の計略がresplatsモジュールのよいロラメータを配が下正式に対象されている実験を行る。
4	ITAWebUI上のグローバル変数管理メニューでグローバル変数を登録する際、 グローバル変数名の接頭文字をOBLとし、OBLを含め128Byte以内とする。	0	0	0	グローJ ULを放名中 単独語中 GBL_SAMPLE sample.bd	GBLSAMPLE	グローバル変数管理	登録画面でバリデーションチェックを行っているので、ITA 追加ルールに準拠しないグローバル変数名は登録できま せん。	With A Sheddow E S
5	グローバル変数を使用する際。playbook内の変数を以下とする。 ※ユーザ定義範囲の記載ルールはAnsible ルールに率する ************************************	0	0	0	- name: ファイル内容機関 command: eat / tmp/ GBL_SAMPLE	・接頭文字(GBL)が小文字になっている command cat /mm/l e/J SAMPLE 接頭文字(GBL)が「Jがな」 command cat /mm/l GDLSAMPLE 実数名が180文字以上ある	グローバル変数管理	作業来行時にグローバル変数の置換が行われないため エラーとなります。	接触文学のBL)がルールに準拠してない場合 最終的な問題の
6	ITAWebUI上のファイル管理メニューでファイル環込変数を登録する際。 ファイル環込変数名の接頭文字をCPF_とし、CPF_を含め256Byteは以内とする。	0	0	×	ファイル事込を数を中 ファイル事材 CPF_SAMPLE sample.bd	OPF.SAMPLE	ファイル管理	登録画面でパリデーションチェックを行っているので、ITA 追加ルールに準拠しないファイル埋込変数名は登録でき ません。	MAIN SECTIONS S
7	ファイル理込度数を使用する際。playbook内の変数を以下とする。 ※ユーザ兵義制度の記載ルールはAnnible ルールに等する 半角大スキ ユーザ変報 {{	0	0	×	- name: ファイル配置 copy: src= CPF_SAMPLE dest=/tmp/SAMPLE.txt	**『または" と表教名の 間に「半角スペース」がはい copy src=[OP SAMPLE] dest=/tmp/SAMPLE.txt copy src=[OP SAMPLE] dest=/tmp/SAMPLE.txt copy src=[OP SAMPLE] dest=/tmp/SAMPLE.txt に"[または"] と変数をの間の「半角スペース」が容易以上ある **はは"[と変数をの間の「半角スペース」が容易以上ある をのす。src=[OF SAMPLE] dest=/tmp/SAMPLE.txt をのす。src=[OF SAMPLE] dest=/tmp/SAMPLE.txt をのす。src=[OF SAMPLE] dest=/tmp/SAMPLE.txt を変数をありまります。以上の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表	ファイル管理	作果実行時にファイル埋込変数の重数が行われないため エラーとなります。	#報告を整名の間の半角スペース。または特部文字(OPF)がルールに準じていない場合 MITTORISMO(2) 2-24-91 国際日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本
8	Ansible-LegacyRoleコンソールでアップロードするロールバッケージファイルは 「roles」のある開席のディレクトリを2向にて圧縮したもの(右記記載例参照)を用意する。 バグっています。 書いてあることが正しい。	×	0	x		reclear Fr (LP) LJACEL \ xxxxxx A Taska (main yml xxxxx A defaults/main yml	ロールバッケージ管理	事前アップロード時に警告を表示します。	ロールパッケージファイル(ZIP形式) FRICE_AUDOCAPALL disabledsamplesNC 参覧 事品アップロード アップロードスで、 rokeディレクトリがありません。

No	項目	Legacy	該当モー Role	Pioneer	ITA取り込み可能例	ITA取り込み不可例	ルールに準拠しな い場合の影響機能	影響現象	エラー表示例
9	各ロールのデフォルト変数定義ファイルで配列変数を定義する際の注意事項 ・単一ロールバッケージ ロールを持って同じ変数名を使用しているが配列変数のメンバー変数の定義が違う際。 ロールを持って同じ変数名を使用しているが配列変数と一般の変数が派在している際。 ップップロード時にエラーとなります。 ・全ロールバッケージ ロール・ジャージを持って同一変数名を使用しているが配列変数のメンバー変数の定義が 温力器。 ロール・ジャージを持って同一変数名を使用しているが配列変数と一般の変数が混在している。 コール・ジャージを持って同一変数名を使用しているが配列変数と一般の変数が混在しているが配列変数と一般の変数が混在して、アフプロード時にエラーとなります。	×	0	×	別シート【配列変数を定義する際の注意事項】参照	別シート【配列変数を定義する際の注意事項】参照	・単一ロールバッケージ ロールバッケージ管理 ・全ロールバッケージ管理	- 駅 - ロールバッケージ ロールバッケーンを登録できません。 - 全ロールバッケーンを登録できません。 ロールバッケーンを登録できません。	- 第一ロールバッケージ ロールバックテンド・ は ロールバックーンでも表的の正義が一致していません。 変数・VAR、SAMPLE ロール名 roles/role2 roles/role1 第書 ロールパッケーンでも、 カールパッケーンでも表的正義をしていますが、変数の正義が一致していません。 変更・VAR、SAMPLE ロールパッケーンでも表的正義をしていますが、変数の正義が一致していません。 変更・VAR、SAMPLEの正義が一致していないロールパッケージ ロールパッケージでもは ロールパッケージ コールパッケージでもは ロールパッケージ
10	・配列変数を使用する際は、defaultsディレクトリのmain.ymlに右記記載例を参考に記入する ※最低1行は定義必須	×	0	×	[defaults/main.yml] VAR.01: -{VAR.SAMPLE.01: "001" . VAR.SAMPLE.02: "002" } -{VAR.SAMPLE.01: "101" . VAR.SAMPLE.02: "102" }	[defaulta/main.yml] VAR_01:	4b 1 At MITTER	配列変数として認識されないので、メンバー変数に値を設定することができません。 作業実行時にメンバー変数未定義のエラーとなります。	登録
11	横築コードの基本書式におけるインデントは2倍数で調整する	0	0	0	- △name: サービススクリプト配置 △ Δ template: △ △ △ △ A off: " item.src " △ △ △ △ Adest: " item.dest " ~ *** △ 半角スペース	・インデンが2倍数になっていない - △ name: サービススクリフト配置 △ Δ ctemplate: △ △ Δ ctemplate: - ○ △ △ △ ム (" if them.dest " ~ " ~ " ~ " ~ " ~ " ~ " ~ " ~ " ~	作業実行	作業実行時に想定外エラーとなります。	■ 進行状況(エラーログ) フィルタ: □ 回動掛けのみ表示 デキ Laystook ファイル (0000000000 - Lodent, yal)の計算の インデントが下去。 デキ Laystook ファイル (000000000 - Lodent, yal)の計算の インデントが下去。

配列変数を定義する際の注意事項

No.	ロールパッケージ	roles	defaults/main.yml	動作	記載内容
1	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が同じ
'		В	VAR_SAMPLE: - {	O	
2	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が異なる
2	9,22,7001	В	VAR_SAMPLE: - {		
3	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }	×	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が異なる
	9227001	В	VAR_SAMPLE: - {	^	
4	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	×	・変数名が同じ ・一般の変数と配列変数が混在している
7	9227001	В	VAR_SAMPLE: aaaa	^	
5	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ
	サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }		・メンバー変数の記載順序が同じ
6	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ
U	サンプル02		VAR_SAMPLE: - {		・メンバー変数の記載順序が異なる
7	サンプル01 サンプル02	A	VAR_SAMPLE: - {	×	・変数名が同じ
		Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_003: "aaaa" , VAR_004: "bbbb" }		・配列変数のメンバー変数の定義が異なる
8	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }	×	・変数名が同じ
U	サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: aaaa	^	・一般の変数と配列変数が混在している

ITAで取り込めるAnsibleのRole応用例

No.	変数	モジュール/様文	動作内容	ディレクトリ/ファイル						
NO.	更無	モンユール/無义	野作が番	defaults/main.yml	templates/※※※.txt					
1	一般変数	with_items	一般変数を使用した with_itemsモジュール	VAR_test: SAMPLE	- name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/[[item]] with items: - "[[VAR_SAMPLE]]"	-				
2	一般変数	if	一般変数を使用した if構文	VAR_SAMPLE: True	- name: 配列変数を仕込んたアンノレートを配直	(\$ if VAR,SAMPLE is defined and VAR,SAMPLE == True 場出力したい文字 (\$ endif 場)				
3	配列変数	with_items	配列変数を使用した with_itemsモジュール	VAR.SAMPLE: - [VAR.001: "aasa", VAR.002: "bbbb"] - [VAR.001: "cccc", VAR.002: "dddd"] - [VAR.001: "eeee", VAR.002: "fffff"]	- name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/"[[item.VAR,001])" with :tems: - "[[VAR,SAMPLE]]" - name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/"[[item.VAR,002]]" with ;tems: - "[[VAR,SAMPLE]]"	-				
4	配列変数	for	配列変数を使用した for構文	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" } - { VAR_001: "cccc" , VAR_002: "dddd" } - { VAR_001: "eeee" , VAR_002: "ffff" }	- name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置	(\$ for tmp SAMPLE in VAR SAMPLE \$) ((tmp SAMPLE VAR 001)) ((tmp SAMPLE VAR 002)) (\$ endfor \$)				
5	配列変数	for if	配列変数を使用した for構文及び ir構文でのループ制御	VAR.SAMPLE: - [VAR.01: 1, VAR.02: 001] - [VAR.01: 0, VAR.02: 002] - [VAR.01: 1, VAR.02: 003]	name: ループと条件分岐の応用例 shell: ループと条件分岐の応用例 % for tmp_SAMPLE in VAR_SAMPLE % % if tmp_SAMPLE.VAR_01 = 1 % echo % tmp_SAMPLE.VAR_02 % sles % true % endif % % endif %	-				
6	配列変数	for if	配列変数を使用した for構文及び if構文でのルーブ制御	VAR SAMPLE: - { VAR 01: 1 , VAR 02: 001 } - { VAR 01: 0 , VAR 02: 002 } - { VAR 01: 1 , VAR 02: 003 }	- name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置 template: src=var_array_sample.txt dest=/tmp/※※※.txt	[% for tmp, SAMPLE in VAR, SAMPLE %] (% if tmp, SAMPLE VAR 01 == 1 %) echo [{ tmp, SAMPLE VAR, 02 }] (% else %) true (% endif %) (% endfor %)				